

<国際マスタークラスシリーズ公開講座>

# ブリュノ・マントヴァーニ

(作曲家 パリ国立音楽院院長)



# 武田忠善

(クラリネット奏者 国立音楽大学学長)



© Pascal Bastien



## 「創造の場としての音楽大学」

[演奏\*+対談+自作を語る]

\* B.Mantovani: “Con leggerezza” の演奏 (板倉康明指揮)

2016年8月31日(水)

開演 18:00 (開場 17:30)

会場: 国立音楽大学講堂小ホール

入場無料 (申込不要) 通訳: 板倉康明

## <企画内容>

- セッション1：「“Con leggerezza”の演奏」 25名を要するマントヴァーニの室内オーケストラ作品を板倉康明指揮、国立音楽大学有志演奏者によって紹介する。
- セッション2：「学長対談」 マントヴァーニ（パリ音楽院院長）と武田忠善（国立音楽大学学長）が、今日における音楽大学、また現在のパリの音楽事情について対話する。
- セッション3：「マントヴァーニ氏・自作を語る」 8月29日にサントリー芸術財団サマーフェスティバルにて、板倉康明氏の指揮によって演奏される新作管弦楽作品、及びこれまでの創作について、板倉氏のきき手を兼ねた通訳を介して語る。



ブリュノ・マントヴァーニ Bruno Mantovani 作曲家・パリ国立高等音楽院院長。

1974年フランス生まれ。パリ音楽院においてアナリーゼ、音楽美学、管弦楽法、作曲、音楽史等を最優秀の成績で修了した後、IRCAMにおいてコンピュータ音楽を学んだ。世界各地の著名なオーケストラ、アンサンブル、演奏家から委嘱を受け、多数の作品が演奏されている。「国際音楽プレス賞」等多数の受賞歴がある。2010年より36歳と言う異例の若さでパリ国立音楽院院長に就任した。今回の演奏曲“Con leggerezza（軽快に）”は2004年にアンサンブル・アンテルコンタンポランの委嘱により作曲され、翌年ベルギーで初演されている。



武田忠善 Tadayoshi Takeda ソロクラリネット奏者・国立音楽大学学長。

1975年国立音楽大学器楽学科卒業。フランス国立ルーアン音楽院に留学し巨匠ジャック・ランソロ氏の下で研鑽を積み、同音楽院にて一等賞を得て卒業。1977年パリ・ベラン音楽コンクール第1位、78年第47回日本音楽コンクール第1位、続く第35回ジュネーブ国際音楽コンクールでは、日本人初の入賞をはたし銅メダルを受賞。国立音楽大学演奏・創作学科教授として多くの逸材を育てるとともに、東洋人クラリネット奏者として初めてパリ国立高等音楽院でマスタークラスを担当する他、シンガポール、韓国、台湾、スペイン、アメリカに招聘されるなど、近年海外でも演奏家、教育家として大いに注目されている。2015年4月学長に就任。



板倉康明 Yasuaki Itakura 指揮者・国立音楽大学客員教授

東京芸術大学附属高校、同大学器楽科卒業。フランス政府給費留学生として渡仏、パリ市立音楽院、パリ国立高等音楽院を卒業。故アンリエット・ピュイグ＝ロジェ女史に音楽全般についての薫陶を受ける。クラリネットソリストとして様々な分野で活躍、その高い知性と均整のとれた演奏は何れも絶賛されている。指揮者としての活動も高い評価を受けており、意欲的に国内外の現代作品の初演に取り組み、同じく国際的に活動している。第66、68、84回と、日本音楽コンクール作曲部門本選での演奏及び指揮に対して、コンクール委員会特別賞を受賞。2000年3月現代音楽の指揮活動に対して第18回中島健蔵賞を受賞。東京シンフォニエッタ音楽監督。



## アクセス

- 西武拝島線 玉川上水駅下車  
改札出て左へ 徒歩7分
- 多摩都市モノレール 玉川上水駅下車  
改札出て右へ 徒歩7分
- 主催：国立音楽大学
- 企画・協力：国立音楽大学創作科目会
- お問い合わせ：042-535-9535（演奏課）